

第43回 The 43rd
Annual Meeting of Japan Society of Maternal and Fetal Medicine
日本母体胎児医学会学術集会

プログラム・抄録集

会期 現地開催・ライブ配信: 2021年8月27日(金)・28日(土)

オンデマンド配信: 2021年9月3日(金)~13日(月)

会場 名古屋コンベンションホール

〒453-6102 愛知県名古屋市中村区平池町4-60-12
グローバルゲート

会長 関谷 隆夫

藤田医科大学医学部
産婦人科学 臨床教授

私達に何が求められているのか
信託と挑戦



ご挨拶



第43回日本母体胎児医学会学術集会

会長 関谷 隆夫

(藤田医科大学医学部産婦人科学 臨床教授)

この度、第43回日本母体胎児医学会学術集会を2021年8月27日(金)、28日(土)に名古屋市にて開催させて頂くこととなりましたので、ご挨拶させて頂きます。伝統ある本会を、藤田医科大学産婦人科が担当させて頂き、身を余る光栄と感じております。

我が国におきましては、社会情勢が変化に伴いましてハイリスク妊娠が増加するとともに、妊娠分娩に対するニーズも変化しており、ひとりひとりの妊産婦や胎児への手厚いケアが求められております。そこで今回のメインテーマは『私達に何が求められているのか 信託と挑戦』とさせて頂きました。まず、一般演題につきましては、妊産婦と胎児の医療に関わる研究・報告・提案等を頂き、積極的ご議論をお願い申し上げます。特別企画と致しましては、1日目のパネルディスカッションで、『帝王切開癒痕部妊娠』および『子宮頸管高度短縮例』について全国のエキスパートの先生にご発表頂き、周産期医療を行う上での超ハイリスク例への対応についてのご議論を賜りたいと存じます。また、2日目のメインシンポジウムでは、『将来の分娩』をテーマとして自然分娩から無痛分娩まで、我が国の今後の分娩のあり方を分娩に関わる医療従事者全体で考察して参りたいと考えております。さらにランチョンセミナーは、超音波検査をはじめ臨床遺伝や、骨系統疾患や脳性麻痺に対する最新の治療法に関するスペシャリストの先生方をお願いし、特別講演では日本医科大学の中井章人先生に『Covid-19が周産期医療に与えた影響と対応』について全国的な立場からお示し頂く予定でおります。

従来、本学会はメディカルエンジニアリングとしての分娩監視や超音波診断を中心に議論して参りましたが、現在では臨床遺伝・胎児治療・母体管理を含めた周産期医学全体を網羅するようになりました。時に今回は、医学者(M)と工学者(E)に加えまして、助産師や臨床検査技師をはじめとしたメディカルスタッフの皆さんにも参加して頂けますよう、特に2日目のメインシンポジウムに引き続き、ランチョンセミナーとして胎児出生前診断のうち心臓の診方、さらにはスポンサードセミナーとして超音波検査による胎児付属物の観察・分娩監視装置による胎児モニタリング・母体救急としての出血への対応についての講演を組ませて頂きました。

私にとっての日本母体胎児医学会は、1989年に初めて参加させて頂いて以来、最も親しみがあり、多くの薫陶を受けて参りました。はなはだ浅学非才ではございますが、本学産婦人科講座教授藤井多久磨講座教授をはじめ教室員の力をお借りして、妊産婦と胎児の現在そして未来を創造する為に有意義な議論と学びの場を提供させて頂きたいと存じますので、母体と胎児に関わっておられる多くの医療従事者の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

第 43 回日本母体胎児医学会学術集会

完全 WEB 方式による学会開催のお知らせ

皆様におかれましては、この度の COVID-19 につきましてご留意頂きながらの日々をお過ごしのことと存じます。

3 月より医療従事者をはじめとしたワクチン接種が開始され、ワクチンの高い効果についての報告も相まって、7 月には明るい未来の兆しを感じられるようになりました。ところが、8 月になってデルタ株による 50 歳代以下の方々への感染の蔓延は著しく、それに伴いまして医療環境が逼迫した状況となっております。担当校と致しましては、少なくともハイブリッド方式による一部対面での開催を目指しておりましたが、残念ながら完全 WEB 方式で行うことと決断させて頂きました。具体的な運用方法につきましては、学会 HP にてご案内申し上げますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、COVID-19 と共存する新しい社会の中での学術講演会開催へご理解頂き、Web での活発なご発表とご議論を賜りますようお願い申し上げますとともに、COVID-19 の蔓延が 1 日も早く収束することを願っております。

第 43 回日本母体胎児医学会学術集会
会長 関谷隆夫

学術集会 WEB 開催

ライブ配信：2021 年 8 月 27 日（金）・28 日（土）

オンデマンド配信：2021 年 9 月 3 日（金）～9 月 13 日（月）

（パネルディスカッション、シンポジウム、スポンサードセミナー3
一般演題セッション）予定

会長：関谷 隆夫（藤田医科大学医学部産婦人科学 臨床教授）

幹事会 日時：8 月 26 日（木） 18：00～19：30

WEB 開催

総会 日時：8 月 27 日（金） 11：10～11：50

WEB 開催。学術集会 WEB 開催サイト内の日程表からご参加ください。

（総会の時間枠をクリックしてご参加いただけます）

参加者の皆様へ

I. 参加登録

学術集会 HP から登録をお願いいたします。

1. 学術集会参加費

一般	15,000 円
メディカルスタッフ・初期研修医	6,000 円
医学部学生・大学院生	無料

※学生の方はメールにて運営事務局まで学生証をお送りください。

2. 参加登録期間

7月31日（土）正午 ～ 9月9日（木）正午

※WEB 視聴に必要な ID/パスワードは、8月6日以降に順次メールでお知らせいたします。

（ご入金の確認に2営業日をいただきますようお願いいたします）

※ライブ配信の視聴をご希望のかたは、8月23日までに登録をお願いいたします。

II. プログラム・抄録集、参加証

WEB 視聴用のパスワードにより、HP から『プログラム・抄録集 PDF』がダウンロードいただけます。

抄録集冊子と参加証は8月23日（月）までに参加登録をいただいた方には会期前に、8月24日以降に登録いただいたかたには、会期後に発送させていただきます。

III. 各種研修証明について

<研修単位>

- ・日本産科婦人科学会専門医 研修出席証明：10単位

日本産科婦人科学会専門医の単位付与対象セッション1つ以上で会員番号をご入力ください。

- ・日本産科婦人科医会研修参加証

ご希望の方はメールにて運営事務局（43jsmf@cs-oto.com）までご連絡ください。シールをお送りいたします。

- ・日本周産期・新生児医学会：5単位

各自、更新時に参加章（名札）の下部にある参加証明書にて申請ください。

（筆頭演者としての発表があれば5単位を追加）

- ・日本超音波医学会：5単位

各自、更新時に参加章（名札）の下部にある参加証明書にて申請ください。

・日本助産評価機構 **WHC** 研修単位

対象セッション:シンポジウム『将来の分娩 私たちに何が求められているのか 信託と挑戦』

【ライブ配信】

本セッションの Zoom 参加時に「発行を希望する」にチェックをいただいていた方に、後日メールにてお名前を記載した修了証の PDF をメールでお送りいたします。

【オンデマンド配信】

講演中に表示されるキーワードを、「キーワード入力フォーム」にてご回答ください。
正解の方には、ライブ配信参加と同様の対応をさせていただきます。

・日本助産評価機構 選択研修単位

対象セッション:

ランチョンセミナー3「Will AI change fetal ultrasound?」

スポンサードセミナー2「高画質がもたらす産婦人科エコーの“Benefit”」

スポンサードセミナー3「CTG エボリューション」

スポンサードセミナー4「産科危機的出血のさらなる改善を目指して」

【ライブ配信】

本セッションの Zoom 参加時に「発行を希望する」にチェックをいただいていた方に、後日メールにて修了証の PDF をメールでお送りいたします。

【オンデマンド配信】

講演内中に表示されるキーワードを、「キーワード入力フォーム」にてご回答ください。
正解の方には、ライブ配信参加と同様の対応をさせていただきます。

IV. 日本専門医機構 単位付与講習について

下記のセッションにおいて日本専門医機構の単位を付与いたします。

開催日	時間	会場	セッション	付与単位
8月27日 (金)	9:00~11:00	第1会場	パネルディスカッション	産婦人科領域講習
	12:00~13:00	第1会場	ランチョンセミナー1	産婦人科領域講習
	12:00~13:00	第2会場	ランチョンセミナー2	産婦人科領域講習
	13:10~16:10	第1会場	スポンサード パネルディスカッション	産婦人科領域講習
	18:20~19:20	第1会場	スポンサードセミナー1	産婦人科領域講習
8月28日 (土)	8:30~12:00	第1会場	シンポジウム	産婦人科領域講習
	12:10~13:10	第1会場	ランチョンセミナー3	産婦人科領域講習
	12:10~13:10	第2会場	ランチョンセミナー4	産婦人科領域講習
	14:10~15:10	第1会場	特別講演	産婦人科共通講習 (感染対策)
	13:20~14:20	第2会場	スポンサードセミナー2	産婦人科領域講習
	14:25~15:25	第2会場	スポンサードセミナー3	産婦人科領域講習
	15:30~16:30	第2会場	スポンサードセミナー4	産婦人科領域講習

※同時間帯のセッションについては、いずれかのみ取得可能です。

【ライブ配信】

視聴ログを確認の上、50分以上視聴履歴があった方に単位付与をさせていただきます。

単位ご希望の方はお名前・所属・専門医番号(8桁)を対象セッション入室時にご入力ください。

【オンデマンド配信】

講演内中に表示されるキーワードを、「キーワード入力フォーム」にてご回答ください。

正解の方には、ライブ配信参加と同様の対応をさせていただきます。

V. 撮影・録音について

WEB配信での撮影・録画・録音は、学会側が認めた場合以外、禁止です。

座長・演者の皆様へ

【演者・座長の先生方へ 共通のご案内】

- 1) リモート(医局、ご自身のお部屋など)にてご登壇いただきますようお願いいたします。日程の変更はありません。
- 2) 事前にZOOMにご参加いただくための接続用アドレスをご連絡いたしますので、セッションの30分前に接続いただき、スタンバイをお願いいたします。そこで事務局より、接続状況の確認・画面共有等の操作方法などのご説明させていただきます。なお、セッション開始までの時間が限られておりますため、必ず時間厳守にてお願いいたします。
- 3) 配信にはZOOMのウェビナーを使用します。事前にZOOMアプリをインストールしてください。ZOOMの使用は、パソコンの場合、カメラ、マイク機能付き(外付け可)PCを用いることが必要です。
- 4) ご使用のネット回線・機器の状況によってはリモート通信が不安定になったり、それを原因とした映像等の不具合が発生したりする可能性がございます。回線状況等にはくれぐれもご留意ください。またその状況に伴いWEB配信が中断してしまう可能性がございますので、ご了承くださいますようお願いいたします。また雑音などが入らないように静かな場所からの接続をお願いいたします。
- 5) セッション中は発表時間・討論時間を遵守いただき、円滑なプログラム進行にご協力をお願いいたします。

【特別講演、パネルディスカッション、シンポジウム、共催セミナー】

- 1) スライドは16:9(推奨)で作成ください。
- 2) 発表データの事前提出はございません。発表スライドを画面共有してご発表をお願いします。進行についての詳細は別途メールにてご相談、ご案内いたします。

【一般演題】

- 1) スライドは16:9(推奨)で作成ください。
- 2) 発表データの事前提出はございません。発表スライドを画面共有してご発表をお願いします。
- 3) 発表7分、討論3分(計10分)で、各ご発表ごとに討論の時間を設けます。
- 4) 質疑応答にはZOOMのチャット機能を使用し、参加者からの質問を受け付ける予定です。

プログラム

プログラム

第1日 8月27日 (金)

パネルディスカッション

8月27日 (金) 9:00 ~ 11:00

第1会場

難症例からみた癒痕部妊娠の周術期対応

座長：金西 賢治 (香川大学医学部母子科学講座周産期学婦人科学)
谷垣 伸治 (杏林大学医学部産科婦人科学教室)

- PD-1 子宮下部の筋層の厚さを保ち内腔を小さくする帝王切開のV字筋層縫合法
長谷川潤一 (聖マリアンナ医科大学産婦人科学)
- PD-2 帝王切開癒痕部妊娠に対する周術期管理の経験と考察
西澤 春紀 (藤田医科大学産婦人科)
- PD-3 帝王切開癒痕部妊娠による癒着胎盤は尿管への癒着も想定して臨む
銘荊 桂子 (琉球大学病院周産母子センター)
- PD-4 難症例からみた癒痕部妊娠に対する帝王切開時の周術期対応
三宅 龍太 (奈良県立医科大学産婦人科学教室)
- PD-5 難症例からみた癒痕部妊娠の周術期対応
早田 桂 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科産科・婦人科学教室)
- PD-6 帝王切開癒痕部妊娠を作らないための帝王切開術の工夫
西島 浩二 (新潟大学総合周産期母子医療センター)

ランチオンセミナー 1

8月27日 (金) 12:00 ~ 13:00

第1会場

LS1 分子遺伝学的解析の周産期への応用と挑戦

座長：夫 律子 (クリフム出生前診断クリニック胎児診断センター・
胎児脳センター)

演者：秦 健一郎 (国立成育医療研究センター研究所周産期病態研究部)

共催：リッツメディカル株式会社

子宮頸管高度短縮例への対応を考える

座長：宮越 敬（社会福祉法人聖母会聖母病院）
石井 桂介（大阪母子医療センター）

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

- SPD-1 子宮頸管の意義と頸管短縮例の問題点
野田 佳照（藤田医科大学医学部産婦人科学講座）
- SPD-2 子宮頸部摘出術後妊娠における残存子宮頸管長と周産期予後の関係
春日 義史（慶應義塾大学医学部産婦人科）
- SPD-3 経腔的腹膜開放式子宮頸管縫縮術
大槻 克文（昭和大学江東豊洲病院周産期センター）
- SPD-4 子宮頸部高度短縮例に対する経腹的アプローチ
—より安全で簡便な開腹子宮頸部縫縮術(TAC)を目指して—
石岡 伸一（札幌医科大学産科周産期科）
- SPD-5 難治性頸管無力症に対する腹腔鏡下子宮峡部頸管縫縮術
瀬尾 晃平（昭和大学横浜市北部病院産婦人科）

一般演題5

8月27日（金） 16：15～17：15

第1会場

分娩監視

座長：篠塚 憲男（胎児医学研究所）

- O-25 ドプラ装置の動作原理を復習し、誤解を糾す
竹内 康人（香川大学）
- O-26 組織揺動クラッタを徹底抑圧した血流ドプラ信号の持つ時間軸情報とその利用について（第2報）
竹内 康人（香川大学）
- O-27 考察 心拍数細変動の核心
赤岩 明（浜田病院）
- O-28 胎児心拍数波形レベル分類を使用したスコアリングシステム：スコアリング至適時間の検討
伊藤 歩（東邦大学医療センター大森病院産婦人科、
東邦大学大学院医学研究科産科婦人科学講座）
- O-29 深層学習を用いた胎児心拍数陣痛図診断補助法の開発
小笠原 淳（慶應義塾大学医学部大学院薬理学教室）

O-30

分娩時におけるコンピュータCTGモニタリングと産科医の判読の違いについて
真川 祥一（三重大学産婦人科）

一般演題6

8月27日（金） 17：20～18：10

第1会場

分娩管理

座長：田中 宏和（香川大学医学部母子科学講座周産期学婦人科学）

O-31

頸管熟化不全に対するジノプロストン腔用剤と器械的頸管熟化法の効果・安全性の後方視的検討
山口 瑞希（三重大学医学部附属病院産科婦人科）

O-32

無痛分娩における分娩第二期児頭回旋異常の検討
瀧田 寛子（昭和大学病院医学部産婦人科学講座）

O-33

無痛分娩下における鉗子分娩前の経会陰超音波検査の有用性についての検討
関谷 文武（昭和大学病院産婦人科学講座）

O-34

当院スタッフの無痛分娩に対する意識変化・行動変容についての意識調査－初回調査との比較－
村上 彩香（医療法人森永産婦人科）

O-35

経産婦の計画無痛分娩における無痛導入タイミングの影響
小瀧 千尋（昭和大学病院産婦人科学講座）

スポンサードセミナー 1

8月27日（金） 18：20～19：20

第1会場

SS1

高画質超音波機器を用いた胎盤および臍帯の評価法の展望

座長：大槻 克文（昭和大学江東豊洲病院産婦人科）

演者：仲村 将光（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院）

共催：コニカミノルタジャパン株式会社

一般演題1

8月27日（金） 9：00～10：00

第2会場

妊娠管理

座長：藤田 恭之（九州大学病院総合周産期母子医療センター）

O-01

当院における早産予防ペッサリー療法についての検討
川村 祐司（名古屋市立大学附属西部医療センター）

- O-02 妊娠34週以降に分娩となった双胎における予後不良児の背景
山本瑠美子（大阪母子医療センター産科）
- O-03 組織学的絨毛膜羊膜炎における臍帯炎合併の有無と臨床像との関係についての検討
佐久間淳也（東邦大学医療センター大森病院産婦人科、
東邦大学大学院医学研究科産科婦人科学講座）
- O-04 頸管ポリープと妊娠28週未満の自然流産の関連
脇本 哲（大阪母子医療センター産科）
- O-05 切迫早産に対する塩酸リトドリン短期投与の効果に関する前方視的検討
本間 千夏（聖マリアンナ医科大学産婦人科学）
- O-06 胎児心拍出量のうち胎盤への灌流配分に対する、塩酸リトドリンによる子宮収縮抑制の影響
島岡 竜一（岐阜県総合医療センター胎児診療科）

一般演題2

8月27日（金） 10:05～10:55

第2会場

母体管理

座長：山本 祐華（順天堂大学医学部附属順天堂医院産科・婦人科）

- O-07 初回妊娠から次回妊娠までの年間BMI増加量とHDP発症との関連についての検討
田野 翔（名古屋大学産婦人科、
トヨタ記念病院周産期母子医療センター産科）
- O-08 妊娠高血圧腎症妊婦における尿中蛋白排泄量と母体の重症度との関連
岡本 知士（愛知医科大学産婦人科）
- O-09 妊娠高血圧腎症重症化予測因子としての妊婦血中脳性ナトリウム利尿ペプチドの有用性の検討
岩垣 重紀（岐阜県総合医療センター産科・胎児診療科）
- O-10 当院で経験したITP合併妊娠17例に関する臨床的検討
佐藤 麻柚（昭和大学横浜市北部病院産婦人科）
- O-11 低BMI妊婦の胎盤は初期から悪いのか？
後藤未奈子（昭和大学医学部産婦人科学講座）

LS2

周産期型低ホスファターゼ症の診療と家族歴調査の重要性

座長：室月 淳（宮城県立こども病院産科）

演者：ハツ賀秀一（飯塚病院小児科）

共催：アレクシオンファーマ合同会社

一般演題3

8月27日（金） 13：10～14：10

第2会場

症例報告 胎児付属物

座長：後藤 麻木（飯塚病院）

O-12

常位胎盤早期剥離を発症した巨大絨毛膜下血腫の1例

柴田 崇宏（トヨタ記念病院周産期母子医療センター産科）

O-13

絨毛膜下血腫による diffuse chorioamniotic hemosiderosis と関連し、
緊急帝王切開術を要した品胎妊娠の一例

川名 奈実（埼玉医科大学総合医療センター
総合周産期母子医療センター母体胎児部門）

O-14

一絨毛膜二羊膜性双胎の羊膜が経過中に破綻し臍帯相互巻落をきたした一症例

厚川 紗愛（埼玉医科大学総合医療センター
総合周産期母子医療センター母体胎児部門産科）

O-15

前置胎盤の入院管理中に発症した特発性腹腔内出血の一例

重富 典子（長崎大学産婦人科）

O-16

流産手術中に予期せぬ大量出血をきたし初めて診断に至った帝王切開後癒痕部妊娠の一例

大川隆一郎（社会福祉法人聖母会聖母病院産婦人科）

O-17

出生前診断した前置血管の3症例と、当科における管理方針の検討

鎌田 恭輔（香川大学医学部周産期学婦人科学）

症例報告 母体1

座長：長谷川ゆり（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科産科婦人科学分野／
長崎大学病院産婦人科）

- O-18 妊娠中に診断・治療した副腎性Cushing症候群の一例
飯谷友佳子（名古屋大学産婦人科）
- O-19 母体ビタミンK欠乏により胎児頭蓋内出血を来し子宮内胎児死亡となった一例
小野ひとみ（岐阜県総合医療センター胎児診療科）
- O-20 経腔的嚢腫内容液の排液により経腔分娩が可能となった後腹膜嚢腫合併妊娠の1例
森 将（トヨタ記念病院周産期母子医療センター産科）
- O-21 吐血とショックバイタルの事前情報で救急搬送された子癇の1例
村井 健（トヨタ記念病院周産期母子医療センター産科）
- O-22 分娩中に意識障害をきたし解離性昏迷と診断した一例
合田真優子（聖隷浜松病院）
- O-23 産褥期に急性発症した急性大動脈解離の1例
金 明（トヨタ記念病院周産期母子医療センター産科）
- O-24 産褥7日目に痙攣で発症した脳皮質静脈血栓症の1例
竹田 健彦（トヨタ記念病院周産期母子医療センター産科）

胎児診断

座長：市塚 清健（昭和大学横浜市北部病院産婦人科）
宮下 進（獨協医科大学総合周産期母子医療センター）

- O-36 胎児スクリーニングにおける胎児中大脳動脈最大血流速度の有用性についての検討
小口 秀紀（トヨタ記念病院周産期母子医療センター産科）
- O-37 胎児鎖肛における瘻孔の部位診断
加地 剛（徳島大学病院産科婦人科）
- O-38 食道閉鎖の胎児診断における pouch の描出
川滝 元良（神奈川県立こども医療センター新生児科）

- O-39 先天性筋強直性ジストロフィーの出生前画像診断について
北野 理絵（総合病院土浦協同病院産婦人科 / 遺伝診療科）
- O-40 胎児十二指腸閉鎖・空腸閉鎖の多施設共同観察研究
小澤 克典（国立成育医療研究センター胎児診療科）
- O-41 Hdlive Flow を用いた正常胎児心臓および先天性心疾患の3次元構築
高吉 理子（三宅医院産婦人科）
- O-42 4次元超音波技術を用いた胎児心臓超音波の双方向性遠隔学習セミナー に対するアンケート調査結果の報告
末光 徳匡（亀田総合病院産婦人科）
- O-43 人工知能による児頭大横径の検出はB-modeと3D超音波のどちらが有用か？
永易 洋子（大阪医科薬科大学産婦人科教室）
- O-44 SMIを用いた正常および異常胎盤の微細血管構築の評価
高吉 理子（三宅医院産婦人科）

一般演題8

8月27日（金） 17:50～19:00

第2会場

胎児治療

座長：高橋雄一郎（地域独立行政法人岐阜県総合医療センター）

日高 庸博（地方独立行政法人福岡市立病院機構福岡市立こども病院）

- O-45 先天性横隔膜ヘルニアに対する胎児鏡下気管閉塞術の現状
和田 誠司（国立成育医療研究センター胎児診療科）
- O-46 胎児水腫を伴う胎児心房粗動に対し経胎盤的抗不整脈薬を投与するも治療が難渋した一例
小瀧 曜（東邦大学大学院医学研究科産科婦人科学講座）
- O-47 胎児胸水に対し胎児治療を行った4例
長谷川ゆり（長崎大学産婦人科）
- O-48 胎児下部尿路閉塞に対する胎児膀胱鏡の早期安全性試験の概要
山本 亮（大阪母子医療センター産科）
- O-49 羊水過多症に対する羊水除去の合併症に関する検討
新谷万智子（大阪母子医療センター産科）
- O-50 双胎児間輸血症候群(TTTS)に対する胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー焼灼術(FLP)の術後に22週未満で破水した10症例の周産期予後の検討
長崎 澄人（東邦大学医療センター大森病院産婦人科）

妊娠26週未満発症の重症胎児発育不全（FGR）の生育限界での循環動態および人工羊水注入療法の有効性に関する研究（“AmnioFGR study”）の概要

高橋雄一郎（岐阜県総合医療センター）

第2日 8月28日 (土)

シンポジウム

8月28日 (土) 8:30 ~ 12:00

第1会場

将来の分娩 私たちに何が求められているのか信託と挑戦

座長：佐藤 昌司 (大分県立病院)

杉山 隆 (愛媛大学大学院医学系研究科産科婦人科学教室)

SY-1

わが国の分娩がどのように行われてきたか
—分娩の痛みのメカニズムとその対応—

飯田 俊彦 (済生会宇都宮病院)

SY-2

自然分娩のススメ — バースセンターとしての試み —

木全美智代 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院バースセンター)

SY-3

無痛分娩の実際 クリニックとしての取り組み

林 聡 (東京マザーズクリニック)

SY-4

無痛分娩の実際 周産期センターとしての運用

今野 寛子 (聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター)

SY-5

無痛分娩の安全性の確保のために真に必要なこと

入山 高行 (東京大学医学部附属病院女性診療科・産科)

SY-6

硬膜外分娩に関する諸問題を乗り越える「チーム医療」
～産科麻酔科医の立場から～

田中 基 (名古屋市立大学病院無痛分娩センター/
名古屋市立大学大学院医学研究科
麻酔科学・集中治療医学分野 周産期麻酔部門 (診療担当))

ランチョンセミナー 3

8月28日 (土) 12:10 ~ 13:10

第1会場

LS3

Will AI change fetal ultrasound?

座長：三浦 清徳 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科産科婦人科学教室)

演者：松岡 隆 (昭和大学医学部産婦人科学講座)

共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

COVID-19と妊娠

座長：加藤 紀子（名古屋第二赤十字病院）

- O-72 緊急事態宣言下における妊婦のコロナウイルス感染予防の実態
福間 理子（聖マリアンナ医科大学医学部医学科）
- O-73 コロナ禍が当院の周産期医療に与えた影響
春日 義史（慶應義塾大学医学部産婦人科）
- O-74 新型コロナウイルスワクチンに関する妊婦の意識調査
会田 真衣（聖マリアンナ医科大学医学部医学科）
- O-75 COVID19パンデミックによる周産期管理の変化は前期破水と誘発分娩を減らす
角田 奈々（昭和大学横浜市北部病院産婦人科）

特別講演

8月28日(土) 14:10~15:10

第1会場

- SL 新型コロナウイルス感染症と周産期医療

座長：関谷 隆夫（藤田医科大学医学部産婦人科学）

演者：中井 章人（日本医科大学産婦人科）

一般演題13

8月28日(土) 15:20~16:30

第1会場

産褥管理

座長：村越 毅（聖隷浜松病院）

- O-76 前置癒着胎盤に対する二期的手術の検討
西村 陽子（聖マリアンナ医科大学産婦人科学）
- O-77 胎盤娩出遅延例におけるリスク因子の抽出
Extraction of risk factors for manual removal of placenta: a retrospective multivariate analysis
清水 文香（昭和大学横浜市北部病院産婦人科）
- O-78 胎盤用手剥離施行症例における出血量増大に関連する因子の検討
藤田 啓（安城更生病院、名古屋大学医学部附属病院）
- O-79 一次産科医療施設から周産期センターへの産褥搬送のタイミングに関する検討
山本 紗希（聖マリアンナ医科大学産婦人科学）

O-80

当院における分娩後出血に対して子宮温存可能である因子の抽出と治療の有効性の検討
鈴木 雄祐（昭和大学横浜市北部病院産婦人科）

O-81

緊急帝王切開分娩となった褥婦の適応度・出産満足度とその理由
～妊婦の適応力を高める教育プログラムPEACEの効果～
横手 直美（中部大学生命健康科学部保健看護学科）

O-82

当院における Retained products of conception 60症例の臨床的検討
イズデプスキ龍也（昭和大学横浜市北部病院産婦人科）

症例報告 胎児1

座長：和田 誠司 (国立研究開発法人国立成育医療研究センター)

- O-52 原因不明の重度羊水過少症に人工羊水注入を行い胎便性腹膜炎を呈した一例
平林 知子 (大阪医科薬科大学)
- O-53 予測を覆し生児獲得できた重症FGRの一例
手塚 敦子 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院)
- O-54 胎児超音波検査を契機に生後一過性骨髄異常増殖症と診断された1例
鈴木 敬子 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院)
- O-55 妊娠後期に増大し診断困難であった胎児肺腫瘍の一例
吉里 美慧 (九州大学病院総合周産期母子医療センター)
- O-56 一次産科施設にて妊娠分娩管理し得た両側多嚢胞性異形成腎の2症例
小林 弘樹 (医療法人社団慶愛慶愛病院)
- O-57 胎児尿管瘤による下部尿路閉塞に対する膀胱鏡下尿管瘤切開を行った一例
山本 亮 (大阪母子医療センター産科)
- O-58 胎児診断された皮質異形成を伴う頭頂部脳瘤の一例
鈴木 紫穂 (獨協医科大学病院総合周産期母子医療センター、
獨協医科大学産科婦人科)

症例報告 胎児2

座長：鈴木 伸宏 (名古屋市立大学産科婦人科学)

- O-59 染色体異常を伴う臍帯動脈瘤と胎児多発奇形を認め、帝王切開術により生児を得た一例
高木 春菜 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院)
- O-60 心室性期外収縮を契機に診断した胎児心室瘤の2例
今泉 絢貴 (徳島大学病院産科婦人科)
- O-61 6か月生存した一絨毛膜一羊膜双胎の一児人魚体の1例
和形麻衣子 (大阪母子医療センター産科)
- O-62 出生に至った22トリソミーの一例
今井 紀昭 (岐阜県総合医療センター産科・胎児診療科)

O-63 胎児バセドウ病との鑑別に苦慮した胎児動脈管早期収縮症の一例
佐治 正太 (聖マリアンナ医科大学産婦人科学)

O-64 喉頭軟化症による羊水過多を呈した22q11.2欠失症候群の一例
北村 卓也 (聖マリアンナ医科大学産婦人科学)

O-65 胎児画像所見でJoubert症候群を疑い、出生後にJoubert症候群およびBeckwith-Wiedemann症候群と診断された1例
佐藤 千明 (長崎大学病院産婦人科)

一般演題 11

8月28日(土) 11:00 ~ 12:00

第2会場

症例報告 母体2

座長：渡辺 員支 (愛知医科大学病院産科・婦人科)

O-66 妊娠後期に腰痛を契機に形質細胞白血病と診断した一例
正岡 駿 (順天堂大学産婦人科)

O-67 抗M抗体陽性妊婦に対し血漿交換療法を施行した一例
島袋麻希子 (東邦大学医療センター大森病院産婦人科、
東邦大学大学院医学研究科産科婦人科学講座)

O-68 妊娠高血圧腎症を併発した後天性血友病合併妊娠の1例
加藤 尚希 (名古屋市立大学附属西部医療センター産婦人科)

O-69 妊娠中に治療を行った疱疹状膿痂疹の2症例
鍋谷 望 (藤田医科大学医学部産婦人科)

O-70 双胎妊娠を妊娠38週まで有床診療所で管理し周産期心筋症になった一例
西牧 裕樹 (聖マリアンナ医科大学産婦人科学)

O-71 反復した齲歯治療が原因と考えられた腸腰筋膿瘍を発症した妊婦の一例
高橋 茉由 (順天堂大学医学部産婦人科学講座)

ランチョンセミナー 4

8月28日(土) 12:10～13:10

第2会場

LS4 羊水由来間葉系幹細胞治療が開く未来

座長：池田 智明 (三重大学医学部産科婦人科学教室)

演者：田中 守 (慶應義塾大学産婦人科)

共催：株式会社ステムセル研究所

スポンサードセミナー 2

8月28日(土) 13:20～14:20

第2会場

SS2 高画質がもたらす産婦人科エコーの“Benefit”

座長：中田 雅彦 (東邦大学医療センター大森病院)

演者：長谷川潤一 (聖マリアンナ医科大学・産婦人科学)

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

スポンサードセミナー 3

8月28日(土) 14:25～15:25

第2会場

SS3 CTG エボリューション

座長：早川 博生 (あいち小児保健医療総合センター)

演者：山口 恭平 (三重中央医療センター産科)

共催：愛知分娩監視研究会

スポンサードセミナー 4

8月28日(土) 15:30～16:30

第2会場

SS4 産科危機的出血のさらなる改善を目指して ～フィブリノゲンを取り巻く現状を中心に～

座長：田中 守 (慶應義塾大学産婦人科)

演者：今井 健史 (名古屋大学産婦人科)

共催：アトムメディカル株式会社